

株式会社 精工技研



2002年3月期 決算説明会

目 次

I. 2002年3月期 実績

II. 2003年3月期 予想

III. 2003年3月期 事業計画

2002年 3月期 実績

2002年3月期 連結決算概要

○ 光通信関連 2,245百万円 前期比 74.2%減)

- 接続部品、パッシブ部品関連 75.6%減
- 光部品製造機器関連 70.2%減

○ 光ディスク金型 1,800百万円 前期比 59.7%減)

- DVD用金型 53.3%減
- CD-R用金型 75.4%減

2002年3月期 決算ハイライト

百万円、%)

	2002年3月期 連結)	前年比	2001年3月期 単独)	2002年3月期 単独)
売上高	4,046	△69.2	13,157	4,247
営業利益	171	△96.9	5,596	339
経常利益	23	△99.6	5,530	201
当期純利益	△942	—	2,891	△768
設備投資	2,605	△11.2	2,934	
減価償却費	570	+81.5	314	
技術研究開発費	389	△17.6	472	
受注高	3,009	△72.5	10,954	
受注残	859	△55.3	1,921	

2002年5月2日発表の業績修正について

	百万円)		
	2002年3月期実績	差 異	2001年11月時計画
売上高	4,046	△217	4,263
経常利益	23	23	0
当期純利益	△942	△690	△252

当期純利益減少要因

- 有価証券の時価の下落に関わる評価損 336百万円
- 繰延税金資産の取崩額の計上 268百万円
- その他 固定資産の除却等) 86百万円

2002年3月期 セグメント別売上高

百万円、%)

	2002年3月期 連)		前年比	2001年3月期 単)	
	売上高	構成比		売上高	構成比
光通信関連	2,245	55.5	△74.2	8,685	66.0
光コネクタ関連	1,082	26.7	△75.8	4,465	33.9
研磨機関連	703	17.4	△70.2	2,363	18.0
光部品関連	459	11.3	△75.3	1,856	14.1
光ディスク金型	1,800	44.5	△59.7	4,472	34.0
DVD関連	1,027	25.4	△53.3	2,197	16.7
CD関連	484	12.0	△75.4	1,970	15.0
その他	289	7.1	△5.2	305	2.3
合計	4,046	100.0	△69.2	13,157	100.0

2002年3月期 光通信関連 セグメント

売上高	光製品	消去	連結	百万円)
外部売上	2,245	—	2,245	
内部売上	—	—	—	
営業費用	2,587	—	2,587	
営業利益	△342	—	△342	

- 北米での設備投資の抑制に伴う需要低迷
- 国内や中国の新規顧客の獲得
- 短納期受注の増加・販売価格の低下

2002年3月期 精機関連 セグメント

売上高	精機	消去	連結	百万円)
外部売上	1,800	—	1,800	
内部売上	274	△274	—	
営業費用	1,561	△274	1,287	
営業利益	513	—	513	

- 下期に、DVD ビデオ用金型を中心とした受注の上昇傾向
- DVD - Rの普及の兆し
- 次世代メディア開発への具体的な取組み開始

2002年3月期 連結損益計算書

百万円、%)

	2002年3月期 連)		2001年3月期 単)
	金 額	前年比	金 額
売上高	4,046	△69.2	13,157
売上原価	2,607	△60.0	6,521
売上総利益	1,439	△78.3	6,635
販売費及び一般管理費	1,267		1,039
営業利益	171	△96.9	5,596
営業外収益	69		64
営業外費用	217		130
経常利益	23	△99.6	5,530
特別利益	146		-
特別損失	952		82
税引前当期純利益	△782	—	5,448
法人税等 少数株主損益	160		2,556
当期純利益	△942	—	2,891

2002年3月期 連結貸借対照表

科 目	2002年 3月期 連結)	2001年 3月期 単独)	増 減	百万円)
<資産の部>				
流動資産	16,049	20,593	△4,544	現金及び現金同等物の増加、有価証券の減少
固定資産	8,221	6,572	+1,649	工場増設による設備投資、営業権取得
資産合計	24,270	27,165	△2,895	
<負債及び資本の部>				
流動負債	412	2,347	△1,935	未払法人税等の減少
固定負債	473	414	+59	
資本の部	23,313	24,403	△1,090	剰余金の減少
負債・資本合計	24,270	27,165	△2,895	

2002年3月期 キャッシュフロー計算書

項 目	2002年 3月期 連結)	2001年 3月期 単独)	増 減	百万円)
営業 C F	△1,618	2,492	△4,110	税引前利益の減少 売上債権の減少
投資 C F	392	△6,755	+7,147	設備投資の減少 定期預金の解約
財務 C F	△200	14,866	△15,066	前期に新株発行あり
現金増加額	△1,422	10,603	△12,025	
期首残高	13,335	2,713	+10,622	
期末残高	11,913	13,317	△1,404	

2003年 3月期 予想

2003年3月期 連結業績予想

百万円、%)

	2003年3月期		2002年3月期
	金 額	前年比	金 額
売上高	3,877	△4.2	4,046
売上総利益	1,406	△2.3	1,439
営業利益	29	△83.0	171
経常利益	△21	—	23
当期純利益	78	—	△942
設備投資	289	△88.9	2,605
減価償却費	563	△1.2	570
技術研究開発費	335	△13.9	389

セグメント別業績予想

百万円、%)

	光製品事業		精機事業		消去	連結
売上高	上期	下期	上期	下期		
外部売上	702	875	1,281	1,018	—	3,877
内部売上	—	—	88	161	▲249	—
営業費用	950	1,188	1,079	879	▲249	3,848
営業利益	▲247	▲313	289	300	—	29

2003年 3月期 事業計画

2003年3月期 経営基本戦略

2003年3月期経営方針

『 新生 と挑戦 』

1. 企業価値の向上
2. 市場のニーズに合致した高付加価値製品の開発
3. 社員の意識向上と質的強化

2003年3月期 事業計画 (全社的取組み)

○ 組織改編

- ◇ 内 容
 - 1. 職能別組織」から 製品別組織」へ
 - 2. 「ピラミット型組織」から 「フラット組織」へ

- ◇ 目 的
 - 1. マーケット重視型製品開発への移行
 - 2. さらなる顧客満足度の向上
 - 3. 責任体制の明確化

2003年3月期 事業計画 光製品関連)

○ 今後の事業展開

▼ 需要回復期に備えた製品を投入

- ・ コンセプト:メトロ・アクセス網向け複合機能品
高速大容量化に向けてのハイパワー対応
 - ーオール光化対応デバイスの開発
 - ー品質と信頼性をさらに高めた光接続部品の上市
 - ー機器製品の充実とトータルソリューションビジネス

▼ 利益体質への転換

- ー既存製品の中国子会社における現地生産を本格化
- ー生産工程の改善、効率化
- ーグループ別損益管理による原価管理の徹底

2003年3月期 事業計画 精機関連)

○ 需要動向

- ◇ DVD-ROMの需要顕在化
プレーヤー等のハードと、映画ビデオ等のソフト双方の市場の顕在化
- ◇ DVD-R等の普及見通し
DVDレコーダーの世界需要は2001年の20万台から、2006年には200万台へ
電子情報技術産業協会 調査)

▼ サービス基盤の充実

- クイックレスポンス、短納期対応
- 需要増加に伴い、増産体制の整備

▼ 次世代光ディスク用金型の開発と市場投入

- 業界動向のキャッチアップと、受注の獲得
- ブルーレイ・ディスクやPDA用小径ディスク金型への取り組み

株式会社 精工技研



2002年3月期 決算説明会